

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳蔵  
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

## 「メディアと民主主義—安倍のメディア支配にNOを！」学習会 4月9日（日）後3時半～区役所地下多目的会議室 永田浩三・武蔵大教授と砂川浩慶・立大教授が対談

森友学園と安倍首相夫妻の関与、アメリカのトランプ大統領の登場、オランダの極右政党の台頭と選挙での敗退、築地・豊洲移転問題、辺野古基地問題、自衛隊の南スーダン撤退など、ここにきて難問山積。ネットメディアが幅を利かせ始めているだけに、マスコミの役割が見逃せません。安倍は日本軍慰安婦問題にかかわる「女性国際戦犯法廷」の番組改変事件からNHKへの干渉をはじめ、特にテレビに対しての影響力を強めています。

こうした状況で、市民の立場からマスコミとどうかわるのかをテーマに、文化の会とも関係の深く、「権力とメディア」の本を執筆されている永田浩三・武蔵大教授と砂川浩慶・立教大学教授をお願いして対談していただくことになりました。さまざまの難問への率直なお考えをいただきながら、特にマスコミをどう捉えるべきかについて、参加者を交えて論議頂きます。

(田場記)

## 4月2日（日）正午 石神井公園駅前集合→石神井公園 桜咲け！共同街宣 野党統一候補の実現めざして有権者にアピール

## 4月6日（木）後6時半～ココネリで「《共謀罪》に反対する区民講演会」 講師に宇都宮健児弁護士 練馬全労協などが主催

3月21日、いわゆる「共謀罪」法案とされる組織的犯罪処罰法改正案が閣議決定され、国会に提出された。かつての治安維持法を彷彿させる悪法への懸念が様々な団体・個人から出されていることは先刻ご承知の通り。このたび練馬地域ユニオンと憲法を生かす練馬の会が共催し、『共謀罪法案の制定にNO!—共謀罪に反対する練馬区民講演会』と銘打った集いを開くことになっ

た。3月22日現在、練馬・文化の会、ねりま九条の会、練馬原水禁、練馬原水協などが団体賛同に名を連ねている他、4名の個人賛同も得ている。団体賛同・個人賛同は引き続き募っているので、連絡先までお知らせ下さい。戦争に直結する稀代の悪法は我々市民の手で木っ端微塵に叩き潰そう!! (藤井達郎記)  
連絡先: 03-3994-2088

## 子どもたちにしのびよる戦争の足音 学習会を振り返り

練馬平和委員会 坂本茂 2017/03/20

3月4日、練馬区内で平和を育てる大泉9条の会 12回目の9条学び場でお話をさせていただいた。会場はネットで見たという元自衛官を含め熱気にあふれ満杯となった。

練馬区内にある練馬と朝霞駐屯地を人生の半分以上見続け、自衛官から直接聞き取ったことや防衛省や東京都・練馬区から情報公開請求文書を分析したことを説明した。

自衛官は「自衛官は国家公務員だ、憲法や法律を守る義務がある。2013年の中部方面隊が派遣された南スーダンで宿営地に着弾したと言われる5・45ミリ小銃弾の場合もそうだ、どこにいつどのような状況で着弾したか発見したか、隊員に怪我があったのか明らかになっ

ていない本当のことを知りたい、帰国した派遣隊員は喋るなど言われているだろう。私は100名も部下がいる、彼らに説明ができない。今持って安保法制に関して説明を受けていない、駆けつけ警護といわれる言葉もおかしい、警察の仕事だ、PKO部隊は国連軍指揮下にある、自衛官の一員としてとして他人事ではない緊張している。訓練も銃を人に向けて撃つという行為は命令する側にしても大変怖いことだ。なにしろ正しい情報を知りたい。」さらに「南スーダンから帰国して恐怖心が身体から離れず仕事にならず病気がちの若い隊員がいる」と紹介した。

このような自衛隊駐屯地に子どもたちが職場体験と称し「体験入隊」したり、自衛官が「防災講話」と称

し校門から入ってくることを。

昭和18年3月、情報部により編集・刊行された写真週報に掲載されている“時の立札”「校門は営門に通じている 学生生徒の生活もそのままが 戦う国家の一分野 逞しい(たくましい)上にも逞しく 若い力と意思とを捧げて(ささげて) 必勝の道を邁進(まいしん)しよう」・・・当時のプロパガンダだ、なにか今に通じていませんかと投げかけた。

2016年7月11日、現職自衛官寺澤誠さんが安保法に反対し東京地裁で「命令服従義務不存在確認請求事件」裁判が始まった、早くも3月23日、弁論終結し判決が東京地裁で出される。その後11月30日には自衛官を息子に持つ平和子(仮称)札幌地裁に南スーダンPKO派遣差し止め訴訟も始まったことも紹介。

運動は一党一派に偏らず住民からも理解を得て、そ

して、もちろん自衛隊員も含めて、敵を作らず彼らと一緒に運動を休まず あせらず あわてず あきらめず 時速4キロの歩みで続けることが重要だろうと結んだ

元自衛官からは米軍からも情報公開請求を求めたらいかがかというありがたい助言を頂いた、まず英会話を65才の手習いをしようかと思っている。元教員からは昭和18年編集・刊行された写真週報の本物とそれを分析した手作りの解説書まで郵送でいただいた、参加者からいっぱいいただいた助言に感謝する。

学習会から数日後 3月10日、安倍首相は南スーダン5月撤退を発表した、当日は森友学園籠池泰典理事長の記者会見の日となぜか一致していた。翌日、駐屯地を訪問すると営門に立っている自衛官やその他多くの自衛官の顔から笑顔が見えた一日であった。

## スタッフ含め延べ700人を超える参加者が集う――

### 「第6回 江古田映画祭—3・11 福島を忘れない—」

ギャラリー古藤 田島 和夫

第6回 江古田映画祭—3.11 福島を忘れない—は2017年2月25日(土)～3月12日(日)まで16日間、会場は初日武蔵大学1号館、2月26日(日)～12日(日)はギャラリー古藤で行い、延べ600人を越える方々に映画を観ていただき、スタッフなどを加えると700名を越える参加者が集い福島に寄りそう集まりとなりました。

3・11東日本大震災から6年が経ちましたが、福島第一原発事故は、事故収束の道筋すら見えないまま、8万人の福島県民が今も避難生活を余儀なくされています。私たちは、福島原発事故をひきつづき考えるために、メインテーマを「3・11福島を忘れない」といたしました。

今回の江古田映画祭では、幅広く福島原発事故に関わる「太陽の蓋」「大地を受け継ぐ」「赤宇木」「新地町の漁師」など13本の映画を上映し、監督やプロデューサーなど映画製作者のトークライブを行い、会場からも生の感想や意見を毎回出してもらい観客を交えた交流がなされ、いつも会場内には福島への思いが満ち満ちていました。「被災した人たちのことを思うと胸が痛みます。原発は1日も早く廃炉にすべきです。」「素晴らしい映画上映ありがとう」「続けていただいていることに感謝します。」「悔しさ、切なさ、憤りが画面から伝わってくる」等々の感想をたくさんいただきました。

また、記念イベントでは詩の朗読やトーク、歌とギターミニライブも行い、菊池和子さんの写真「フク

シマ漂流はつづく」、「福島こども保養プロジェクトの保養活動の紹介写真」などの展示物には来場者からは多大な関心が寄せられました。

映画祭の準備には、毎回20名近くの実行委員が集まり、今回はスタッフの健康第一を念頭に置いて、テーマ、プログラム、映画の選定、周知方法、役割分担等々の検討を行いました。また、多くのボランティアの方々が、会場受付、映写、トーク司会、物販などに従事し映画祭を支えました。

映画祭の周知では、朝日、東京、読売、毎日、産経、赤旗などの日刊紙をはじめ多くのメディアが取り上げてくれました。また、ラジオ番組のJ-WAVE BEATPLANE Tでも紹介されました。

今年も「みどりのまちづくりセンター」が後援し、また、「ギャラリー水・土・木」の協力をいただき、広がりをもった交流をつくれました。

店頭販売では、入場者のみならず地域の方々で賑わいました。

なお、会場での集まった保養カンパの募金は、福島のこども保養プロジェクトを行っている2団体に寄付しました。

「第6回江古田映画祭」にご協力いただいた映画関係者・団体・ゲストの方々、入場者並びに練馬・文化の会をはじめ関わったすべての人々に、厚くお礼申し上げます。

(江古田映画祭実行委員会—2017年3月16日)